

1. 必要な施設の評価シート

資料 3-2

○施設種別：（１）主練習場（グラウンド）

視点		評価	
現サンドームの状況		面積：5,845㎡（100m×58m程度） 野球、ソフトボール、ハンドボール（4面）、ゲートボール（8面）、 サッカー（90m×50m）、 陸上競技（200mトラック、80mハードル、 走り高跳、走り幅跳、三段跳）、ラグビー（ハーフコート）	
①コンセプト	スポーツ	様々な競技が実施可能であり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	年間を通じて、誰もがスポーツに親しめる環境を確保することで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	スポーツを通じた交流人口の拡大が期待できる。	○
②利用ニーズ		現サンドームの主練習場の年間利用者数は約75,700人（令和6年度）であり、主に野球、サッカー、運動会等で利用されている。特に冬期間の利用率が高く、抽選により利用の決定をしていることから、利用ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		市内で同様の代替施設がないため、整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。	○

○施設種別：（２）ジョギングコース

視点		評価	
現サンドームの状況		1周300m 幅2m程度	
①コンセプト	スポーツ	通年でウォーキングやジョギングが実施可能であり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	通年でウォーキングやジョギングができる環境を提供することで、運動習慣が身につく効果が期待でき、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	ジョギングを通じて利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		現サンドームのジョギングコースの年間利用者数は令和5年度が約35,500人、令和6年度が約34,600人と、カキヒログループスーパーアリーナのオープン後もほぼ横ばいであり、一日平均で100人近い市民に利用されていることから、利用ニーズは高い。 ※カキヒログループスーパーアリーナのランニングコースの一日平均利用者は約30人	○
③整備しない場合の影響		移転先のセントラルパークにあるカキヒログループスーパーアリーナにランニングコースがあるものの、イベント開催時等に利用できないことがある。また、市内に同様の代替施設はあるものの、ジョギング可能な施設の純減は市民の運動する機会の減少に直結することから、整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。 ※ただし、アリーナとの役割の整理が必要	○

○施設種別：（３）トレーニング室

視点		評価	
現サンドームの状況		面積：187㎡	
①コンセプト	スポーツ	トレーニングにより基礎体力の向上が見込まれ、スポーツを楽しめる体づくりに寄与する。	○
	健康	通年で気軽に運動できる環境を提供することで、運動習慣が身につく効果が期待でき、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	トレーニングを通じて利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		トレーニング室の年間利用者数は令和5年度が約41,500人、令和6年度が約50,300人と、カキヒログループスーパーアリーナのオープン後も増加しており、多くの市民に利用されていることから、利用ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		移転先のセントラルパークにあるカキヒログループスーパーアリーナにはフィットネスジムがあるものの、月額での契約となっていることから、中高生を始め、1日単位での料金設定のトレーニング室を整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。 ※ただし、アリーナのフィットネスジムとの役割の整理が必要	○

資料 3-2

○施設種別：（４）会議室

視点		評価	
現サンドームの状況		【第1会議室】66㎡（収容人員45人） 【第2会議室】59㎡（収容人員40人）	
①コンセプト	スポーツ	研修や講座等の実施により、スポーツを楽しめる知識・体づくりに寄与する。	○
	健康	研修や講座等の実施により、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	会議、研修、講座等の実施により、参加者・利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		会議室の年間利用者数は約16,400人（令和6年度）と会議で利用されるほか、大会開催時の監督者会議や選手控室としても利用され、ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		大会開催時の監督者会議や選手控室としても利用されることから、整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。 ※ただし、アリーナにも会議室があることから、部屋数や面積については検討が必要	○

○施設種別：（５）ロッカー室・シャワー室

視点		評価	
現サンドームの状況		【ロッカー室】男子：約27㎡、女子：約27㎡ 【シャワー室】男子：23㎡、女子：23㎡	
①コンセプト	スポーツ	スポーツをする諸室ではないが、スポーツをするための利便性向上に寄与する。	○
	健康	市民の健康増進に影響を与えるものではないが、運動をするための利便性向上に寄与する。	○
	交流	利便性が向上することで利用者数が増加し、利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		統計がないため、具体的な利用状況については、不明であるが、現サンドームの利用者において、ロッカー室やシャワー室は恒常的に利用されている。	○
③整備しない場合の影響		より快適な利用環境を提供するため必要な施設である。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。	○

資料 3-2

○施設種別：（６）トイレ

視点		評価	
現サンドームの状況		男子1（和大2・洋大2・小5）、女子1（和大2・洋大2）、 男子2（和大2・洋大2・小4）、女子2（和大3・洋大2）、 身障者（洋大1）	
①コンセプト	スポーツ	スポーツをするための利便性向上に寄与する。 また、多機能トイレを設置することにより、障がい者のスポーツ環境の向上につながり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	運動をするための利便性向上に寄与する。 また、多機能トイレを設置することにより、障がい者のスポーツ環境の向上につながり、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	利便性が向上することで、利用者数が増加し、利用者同士の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		トイレはなくてはならないものであり、利用ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		トイレがないことにより利便性が大幅に低下することから、整備しない場合の影響は大きい。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。	○

○施設種別：（７）駐車場

視点		評価	
現サンドームの状況		駐車台数約100台	
①コンセプト	スポーツ	利便性が向上することで、利用者数が増加し、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	利便性が向上することで、利用者数が増加し、運動による市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	利便性が向上することで、利用者数が増加し、利用者同士の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		青森市内では移動手段として自動車の利用が多いことから、駐車場の利用ニーズは高い。	○
③整備しない場合の影響		公共交通機関を利用しない方の来館が不便となるなど、利用者の利便性が低下することから、整備しない場合の影響は大きい。 なお、大会やイベント開催時も考慮し、駐車場の規模や配置を検討する必要がある。	○
総合評価（対応方針）		全ての視点で評価が高いため必要性がある。	○

資料 3-2

○施設種別：（８）救護室

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	ケガへの即時対応ができることで、安心してスポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	高齢者や持病を持つ方でも安心して利用できることで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	安心して利用できることで利用者数が増加し、利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		現サンドームにはないものの、スポーツでけがをした際の利用ニーズはある。	○
③整備しない場合の影響		現サンドームにはないものの、スポーツでけがをすることも考えられることから、整備しない場合の影響はやや大きい。	△
総合評価（対応方針）		安心してスポーツに親しめる環境づくりに寄与することから必要性は高い。	○

○施設種別：（９）多目的広場

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	屋外でも様々な運動が実施可能であり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	ジョギングや散歩ができる遊歩道を整備することで市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	移転先のセントラルパークにあるカクヒログループスーパーアリーナと新屋内グラウンドをつなぐ場として、面としての一体性を持たせ、連携してイベントや交流事業を展開することで交流人口の拡大が期待できる。	○
②利用ニーズ		現状の多目的芝生広場でジョギングや散歩を楽しむ市民が多いことから、利用ニーズは高く、近接するカクヒログループスーパーアリーナと連携しての利用ニーズも想定される。 また、イベント開催時等の混雑時に臨時駐車場として活用することで更なる利用ニーズも想定される。	△
③整備しない場合の影響		現状、多くの市民が利用する多目的芝生広場となっていることから、整備しない場合の影響はやや大きい。	△
総合評価（対応方針）		ニーズはあるものと思われるが、移転先のセントラルパークは県有地であり、県との協議が必要である。	△

資料 3-2

○施設種別：（１０）体育室

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	主練習場ではできない屋内競技が実施可能であり、スポーツに親しめる環境づくりに寄与する。	○
	健康	年間を通じて、誰もがスポーツに親しめる環境を確保することで、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	スポーツを通じた交流人口の拡大が期待できる他、ねぶたの囃子の練習場所としても利用できるようにすることでねぶた関係者の交流も期待できる。	○
②利用ニーズ		近接するカクヒログループスーパーアリーナの屋内競技実施可能な諸室は多くの市民に利用されており、予約が取りづらい状況もあることから、新たなサンドームでも利用ニーズはあるものと想定される。	△
③整備しない場合の影響		現サンドームにはなく、また、近接するカクヒログループスーパーアリーナに屋内競技の実施が可能な諸室があるため、整備しない場合の影響はやや小さい。	△
総合評価（対応方針）		ニーズはあるものと思われるが、移転先のセントラルパークにあるカクヒログループスーパーアリーナにもある施設であることから、役割分担を考慮した検討が必要である。	△

○施設種別：（１１）キッズルーム

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	子供の基礎体力向上により、スポーツを楽しめる体づくりに寄与する。	○
	健康	子供の遊び場を確保することで、子供の健康増進に寄与する。	○
	交流	子ども同士の交流はもとより、親同士の交流も期待できる。	○
②利用ニーズ		移転先のセントラルパークにあるカキヒログループスーパーアリーナにキッズルームが整備されており、土日や夏休み、冬休みなどは混雑しているが、平日はそれほど混雑していないことから、利用頻度は高いもの想定される。	△
③整備しない場合の影響		隣接するカキヒログループスーパーアリーナにキッズルームが整備されているため、整備しない場合の影響は少ない。	×
総合評価（対応方針）		コンセプトには合致するが、ニーズや整備しない場合の影響等を考慮すると必要性は低い。	×

資料 3-2

○施設種別：（１２）プール

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	水泳により基礎体力の向上が見込まれ、スポーツを楽しめる体づくりに寄与する。	○
	健康	水中運動は関節負担が少なく、リハビリや高齢者の運動にも適しているため、市民の健康増進に寄与する。	○
	交流	水泳教室などを実施することにより通年で運動する人口が増加し、参加者・利用者間の交流が期待できる。	○
②利用ニーズ		現サンドームにはなく、市内のプールを設置した施設において、それほど混雑している状況ではないことから、利用ニーズは高いものと想定される。	×
③整備しない場合の影響		現サンドームにはなく、市内には青森市民室内プールや古川市民センターなど、プールを設置した施設があることから、整備しない場合の影響は少ない。	×
総合評価（対応方針）		コンセプトには合致するが、ニーズや整備しない場合の影響等を考慮すると必要性は低い。	×

○施設種別：（１３）宿泊施設

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	合宿等、施設利用の幅が広がるが、一般市民のスポーツ利用にはそれほど寄与しないと考えられる。	×
	健康	合宿等、施設利用の幅が広がるが、一般市民の健康増進にはそれほど寄与しないと考えられる。	×
	交流	合宿利用者間の交流は期待できるが、一般市民の交流にはそれほど寄与しないと考えられる。	×
②利用ニーズ		利用ニーズは多少あると思われるが、現サンドームにはなく、利用機会も限られるため、利用頻度は高いものと想定される。	△
③整備しない場合の影響		現サンドームにはないことに加え、市内には合宿所を併設している新青森県総合運動公園もあることから、整備しない場合の影響は少ない。	×
総合評価（対応方針）		全ての評価が高くないため必要性は低い。	×

資料 3-2

○施設種別：（１４）貸事務室やOAスペース

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	スポーツすることに影響を与えるものではない。	×
	健康	市民の健康増進に影響を与えるものではない。	×
	交流	市民の交流に影響を与えるものではない。	×
②利用ニーズ		利用ニーズは多少あると思われるが、貸事務室についてはスポーツ施設で求められるものではなく、OAスペースについては利用頻度が低いものと想定される。	△
③整備しない場合の影響		現サンドームにはなく、貸事務室は市内に代替となるものがあり、OAスペースについても他の諸室との兼用も可能であることから整備しない場合の影響は少ない。	×
総合評価（対応方針）		全ての評価が高くないため必要性は低い。	×

○施設種別：（１５）特別室（来賓用等）

視点		評価	
現サンドームの状況		なし	
①コンセプト	スポーツ	スポーツすることに影響を与えるものではない。	×
	健康	市民の健康増進に影響を与えるものではない。	×
	交流	市民の交流に影響を与えるものではない。	×
②利用ニーズ		現サンドームにはなく、利用ニーズは多少あると思われるが、利用機会が限られることから専用ではなく他の諸室との兼用を検討する必要がある。	△
③整備しない場合の影響		現サンドームにはなく、他の諸室との兼用も可能であることから、整備しない場合の影響は少ない。	×
総合評価（対応方針）		全ての評価が高くないため必要性は低い。	×